

第 19 回 運営推進会議実施報告

平成 22 年 9 月 7 日 19 時よりやすらぎの里にて、第 19 回運営推進会議を行いました。
参加者は塩釜市介護福祉課様、北部地区地域包括支援センター様、千賀の台町内会様、塩釜消防署様、ご家族様、全入居者様、施設職員。今回のテーマは「夜間災害における避難誘導の実態」として行ないました。



《会議の内容》

○ 火災想定避難誘導訓練

夜間火災発生を想定し、入居者の避難誘導訓練を行ないました。
やすらぎの里 2 番地倉庫より出火とし、各棟夜勤者 1 名ずつの 3 名
で 26 名全入居者を棟外へ避難誘導しました。
火災発生から避難誘導終了まで約 6 分。緊急連絡網にて全職員に連絡し内、駆けつけ職員は連絡が入ってから約 4~5 分で到着しました。

○ 塩釜消防署様より

現在の火災では、焼死よりも煙死が多いのが実態である。初期消火で沈火できればいいが、すでに炎が大きい場合は人命優先とし、避難誘導を行なってほしい。

駆けつけ者が来るまで時間が掛かる為、夜間に災害が発生した場合は、少ない職員の人数で避難するしかないと思います。

○ 統括防火管理者より

日々の訓練に勝るものはないので、今後も訓練を行なって行ってほしい。

以前の消防査察で指摘があった台所周りの整理、避難口の確保については早急に改善した。

今月 6 日の査察では、問題なしのお言葉を頂きましたので今後も防災に努めて行きたいと思う。

○ 千賀の台町内会会長 高橋様より

実際に夜暗い中で避難誘導を行なうのは大変な事だと思う。

千賀の台から駆けつけるまでおそらく約 10 分は掛かる。

今後も全面的に協力していくので宜しくお願いします。

○ 塩竈市介護福祉課 安部様より

市内 4 ヶ所のグループホームのうち、法改正により現在スプリンクラーを設置しているのは設置義務のある 1 ヶ所のみである。床面積の少ないグループホームへの国からの補助金は支給されていない状態である。

○ 北部地区地域包括支援センター 吉田様より

今回の訓練時、夜勤者各 1 名ずつの 3 名での避難誘導とのことで、職員の配置基準を再確認しました。夜間の場合、職員は入居者の避難誘導が精一杯で、駆けつけた職員や地域の方々の力が大事なな感じました。



やすらぎの里といたしましては今後も訓練を重ね、災害時における地域との連携を深めていきたいと考えております。

次回の運営推進会議は 10 月に開催予定です。多くのご家族様、地域の方々からのご意見をホームの運営に反映させていければと思っておりますので、是非ご参加頂きます様宜しくお願い致します。